

加古川市健やか親子21（第2次）計画 — 概要版 —

計画策定にあたって



少子化等に伴い、子育て環境が変化する中で、安心して子どもを産み、子どもがより健やかに育まれるためには、妊娠、出産、子育てのライフサイクルを通じて切れ目のない支援体制を構築し、多様性を踏まえた母子保健サービスが提供されることは重要です。

本市では、誰もが安心して暮らし、子どもの健やかな育ちを支援することを目的に、本計画を策定しました。

計画の期間



平成28年度から平成37年度までの10年間を計画期間とします。但し、平成32年度に中間評価を行うこととし、必要に応じ、適宜見直しを行います。

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
健やか親子21 (第2次)計画					中間評価					最終評価

基本理念



少子化や核家族化が進む中、誰もが安心して暮らし、子どもが健やかに育つ環境づくりを目指すために、本計画の基本理念を次のように定めます。

基本理念：すべての子どもが健やかに育つまち

計画の体系



基本目標① 切れ目のない妊産婦・乳幼児への保健対策の充実

基本目標② 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実

基本目標③ 子どもの健やかな成長を見守り育む環境づくり

重点目標 育てにくさを感じる親に寄り添う支援、児童虐待防止対策の充実

施策の展開



基本目標①

切れ目のない妊産婦・乳幼児への 保健対策の充実

親子が安心して生活できるよう、妊娠・出産・育児期において、関係機関がかかわりながら、母子保健サービス等を提供できる体制づくりを強化し、切れ目のない支援を行います。

【数値目標】

指標名	現状値	目標値
産後うつ病のスクリーニング（EPDS）実施率	36.8%	70.0%
乳幼児健康診査未受診率	4.0%	2.0%

【取り組み】

- 妊産婦・育児相談体制の充実を図ります。
- 産後うつ病予防対策に取り組みます。
- 医療機関等と連携を図ります。 など

基本目標③

子どもの健やかな成長を見守り育む 環境づくり

地域社会全体で子どもの健やかな成長を見守り、子育て世代の親を孤立させないよう支えていく環境づくりを目指します。

【数値目標】

指標名	現状値	目標値
育児の相談相手がいる人の割合	99.7%	100.0%
この地域で子育てをしたいと思う親の割合	95.4%	96.0%

【取り組み】

- 相談支援の充実を図ります。
- 仲間づくりを支援します。 など



基本目標②

学童期・思春期から成人期に向けた 保健対策の充実

児童生徒自らが、心身の健康に関心を持ち、より良い将来を生き、心身ともに健康な父親、母親になるため、子どもたちの心とからだの問題への対応など保健対策の充実を図ります。

【数値目標】

指標名	現状値	目標値
朝食を欠食する子どもの割合	小学生	10.3%
	中学生	15.7%
	高校生	9.0%

【取り組み】

- 思春期健康教育の充実を図ります。
- 関係機関との連携を強化します。 など

重点目標

育てにくさを感じる親に寄り添う支援、 児童虐待防止対策の充実

親子が発信する様々な育てにくさのサインを早期に受け止め、丁寧に向き合い、子育てに寄り添う支援を行います。また、支援が必要な家庭に早期に対応し、児童虐待防止対策の充実を図ります。

【数値目標】

指標名	現状値	目標値
育てにくさを感じた時に対処できる親の割合	84.6%	95.0%

【取り組み】

- 子どもの社会性の発達について普及啓発を図ります。
- リスクマネジメントを行い、妊娠・出産・育児期を通じて切れ目なく支援します。 など